

「認定心理士（心理調査）」資格について

1. 認定心理士（心理調査）

「認定心理士（心理調査）」とは「心理調査に関連する専門科目を履修した認定心理士」という位置づけの資格であり、日本心理学会が認定するものである。

2. 認定心理士（心理調査）の単位認定について

- 認定心理士(36 単位)の要件を満たす者が、「心理調査」に関する 10 単位を履修した場合、「認定心理士（心理調査）」の認定を申請することが出来る。*同時申請という。
- また、「心理調査」に関する 10 単位は、認定心理士(36 単位)に含まれる場合もある（ダブルカウントが可能である）。

3. 研究のサマリーについて（重要！）

- 認定心理士（心理調査）のカリキュラム「3. 発展／展開研究（実習）」では、研究のサマリー提出が求められるため、「上級実験演習」（3 年次）および「卒業論文」（4 年次）において、2 種類の書類作成（それぞれ A41 枚）が必要となる。
- ⇒「認定心理士（心理調査）」を取得する者は、上記の条件をクリアする必要があり、特にサマリー作成にあたっては、担当教員からチェックを受ける必要がある。

4. 費用（振込先：日本心理学会）

- *「認定心理士（心理調査）」の申請に必要な金額（審査料 16,500 円，認定料 38,500 円⇒合計 55,000 円）

5. カリキュラム（認定心理士の基準を満たした上で、以下の 10 単位を修得すること）

表 1 心理調査関連科目

	科目名	認定単位	基本/副次	資格要件
1. 概論	現代社会調査入門	1	副次	<u>2単位以上</u>
	心理学研究法	1	副次	
	心理テスト論	1	副次	
	質問紙調査法	1	副次	
2. 統計	心理統計法Ⅰ(2018より心理学統計法Ⅰ)	2	基本	<u>2単位以上</u>
	心理統計法Ⅱ(2018より心理学統計法Ⅱ)	2	基本	
	推測統計学Ⅰ	2	基本	
	推測統計学Ⅱ	2	基本	
	心理学情報処理	2	基本	
3. 実践	上級実験演習	2	-	<u>6単位以上</u> ※各課題について目的、方法、結果、考察を含む報告がなされていること。
	卒業論文	4	-	
				合計10単位以上